

「現場のデータが業務判断を動かす農場へ」－養豚群管理DXプロジェクト

事業者名:株式会社農業生産法人くにながみ畜産(国頭村／養豚一貫生産)

総事業費:8,313,650円(税抜)

1. 事業内容

2. 事業効果イメージ

(1)概要

①事業目的

養豚農場における紙・黒板・口頭連絡に依存した「群管理(豚を管理する単位)・移動管理」「出荷計画管理」「健康・事故管理」といった業務を、データに基づく記録・判断・共有へ転換することを目的とする。

②事業概要

クラウド型「養豚群管理システム」(7機能)を構築する。また多言語UIで外国人従業員も主体的にデータ収集・報告できる体制を構築する。

- ・群計画、移動管理
- ・アラート機能
- ・出荷計画見える化
- ・多言語UI、写真共有
- ・現場入力、モニタリング
- ・権限管理、外部共有
- ・健康異常、事故防止

③連携ITベンダー: 株式会社リクリエ(那覇市)

(2)見込まれる効果

<定量的効果>

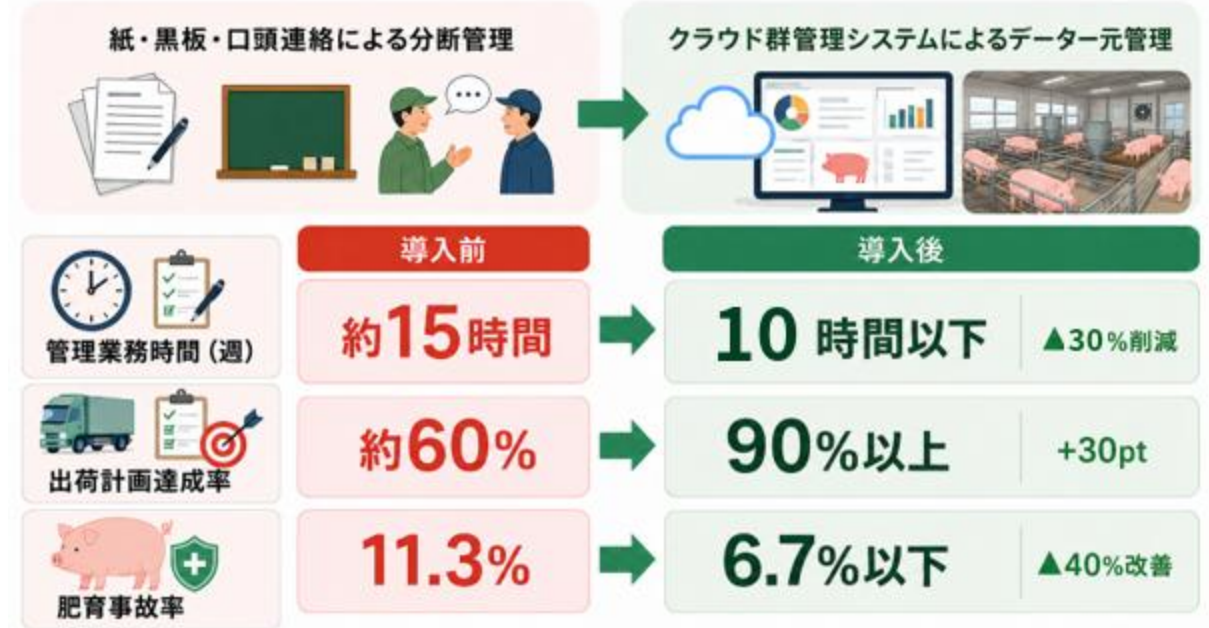
- ・肥育事故率:11.3%→6.7%以下(3年後5%以下)
- ・出荷計画達成率:約60%→90%以上(3年後100%以上)
- ・管理業務時間(週):約15h→10h以下(3年後7.5h以下)

<定性的効果>

外国人材が主体的にデータ収集を担う体制構築、農場HACCP記録の自動化

(3)本事業終了後のビジネス展開や今後のDXに向けた取組

- ・短期(Ph.2 R9～R10年): 母豚管理(種付～分娩)のデジタル管理を追加し、全ステージ一貫データ管理へ拡張。
- ・中長期(Ph.3 R10年～): 蓄積データを活用したAI増体予測やIoT環境センサー連携を検討し、データ活用基盤として拡張。(出荷頭数22,000頭を目指す)



3. 将来像

現場のデータが業務判断を動かす農場へ - データ起点の経営意思決定への転換-

安定した供給管理・出荷数の向上・生産コストの削減を達成し、沖縄県内最大規模の養豚生産者として地域の食文化と食卓を支え続ける。
成功体験を積み上げていくことを、持続的なデジタル化の鍵と位置づけ、農場現場の業務プロセスをデータで変えることに取組み、農畜産業の持続的発展に貢献する。